

	教科名：自律学習 「臨床動物看護学」	自律学習用理解課題（3時間用シラバス） 科目名：臨床動物看護学	臨床動物看護学
<p>対面授業で「臨床動物看護学」を学ぶ前に自律学習（約3時間）で動物看護学に必要な知識を復習し理解しておく。自律学習用テキストを読み、その中から15個の理解課題の回答を得られるように努力する。</p>			
<p>理解課題 動物看護の目的とはなにか、説明できるようになる。</p>			
1	動物目的とは、すべての生活末ステージにおける、その動物の一生を支えること。また、動物看護の実践は個々の動物の環境や状況を理解した上で、個性性を踏まえて行うこと。		
<p>理解課題 動物の看護とは何か、説明できるようになる。</p>			
2	動物の看護は、多様な環境に生存する多様な動物種を対象として、動物の健康の保持と増進、病気の予防と動物医療の補助に努め、動物たちが健やかな一生を全うするように援助すること。（動物看護者の倫理綱領 参照）		
<p>理解課題 動物看護の基本とはなにか、説明できるようになる。</p>			
3	動物の安全、安心、自立（自分で生活に必要な動作ができること）を基本とし、個性性を持って看護すること。動物看護の基本的な条件は、その動物が動物らしく健康な生活が送れるように支援することであり、そのためには看護対象である動物の状態を適切に捉える必要がある。このために必要な観察力である。専門職としての観察技術により、動物が必要としている看護は何か？状態はどうか、を観ることでありそのためには正常である時を知ることが重要である。		
<p>理解課題 健康とはなにか、説明できるようになる。</p>			
4	健康とは、完全に身体、精神及び社会的に良い状態（安定）であることを意味し、単に病気でないとか虚弱でないとかを意味するものではない。動物看護の対象となるステージについて前述したが、その中にある「健康」という言葉を省みてみよう。世界保健機構とは、人間の健康を基本的人権の一つと捉え、その達成を目的として設立された国際連合の専門機関（国連機関）である。略称は英語：WHO。1948年WHOで定義されたもので、「健康とは、完全に身体、精神及び社会的に良い（安定な）状態である事を意味し、単に病気でないとか、虚弱でないということではない。病気でないこと、心身健やかで、不快な点が無いとか合わさってこそ健康が確立できる。この猫を見てみよう・・・目がキラキラとしていて目ヤニがない、両眼の瞳孔が同じ大きさ、鼻に分泌物がなくピンク色、パッドもピンク色で艶々している、などが健康の印である。体の全ての構造や動きが、飼育環境に適応し、お互いに調和しながら正常に働いていること。意識なくとも常に恒しく働いていること（恒常性）。		
<p>理解課題 人の看護婦（看護師）で、動物看護の規範となっている二人の名前を知る。また、二人が説いた内容を学修する。</p>			
5	①フローレンス・ナイチンゲール ②ヴァージニア・ハンダーソン 説いた内容①病気を診るのではなく病人を看よ ・観察力がなければいくら献身的であっても無用である ②病人であれ健康人であれ、各人が、健康あるいは健康の回復（あるいは平和な死）に資するよう行動するのを援助すること。その人が必要なだけの体力と意思力と知識とを持ってれば、これらの行動は他者の援助を得なくても可能であろう ・確認ができるだけ早く自立できるように助けることもまた看護の機能である。		
<p>理解課題 獣医師の職域と、看護師の職域の特徴を理解し、説明できるようになる。</p>			
6	・獣医師は、病気を診る（診断、治療、処方、予後） ・動物看護師は、病気だけに対応するのではなく動物全体を看る。獣医療現場ではまず獣医師がいて獣医師にしてできない役割を確認する。疾病w持つ動物を診察し、現状を把握して診断をする。病気を治すために必要な手術をし、今後この動物はどのような経過をたどる可能性があるのか、予後判定を行うこと。獣医師が「みる」「診る」と書き、獣医師は「病気を診る」と書き、獣医師は「病気を診る」と書き、動物看護師にしてできないことは動物全体を看ることである。看護の看はよく見る、という意味。		
<p>理解課題 診療場面での動物看護師の役割とはどんなことが説明できるようになる。</p>			
7	動物が、安全で安心して診療を受けられるために活躍する。動物を観察し、動物看護過程の展開を実施する。①情報の収集により身体的、精神的、環境の問題は何かを考える ②獣医師からの指示を正確に実施できるようにする ③問題点は報告・連絡・相談する ④治療などは計画的に、看護計画に沿って実施 ⑤動物をよく観察し、症状や経過を記録・報告・連絡する ⑥個性性を大切に看護		
<p>理解課題 飼い主に対して動物看護師の役割とはどんなことがあるか説明できるようになる。</p>			
8	①動物への配慮とともに、家族への気遣いも動物看護師の担当分野 ②来院時の気持ちや察し、不安、悩み、緊張、恐怖に対応する ③獣医師の説明が理解できているか？ 治療方針に納得できているか？ 自分の意見を言えているか？ 重病とわかってショックを受けていないか？ 生活環境に合った指示が出ているか？ 指示内容が無理な注文になっていないか？ を観察し対応する。④動物の最期に接した際の心のケアを担当する。⑤亡くなった後の、動物のケアや埋葬、その後の指導ができ、心のケアに心を配る。		
<p>理解課題 「動物看護師の倫理綱領」とはなにか、理解し簡潔に説明できるようになる。</p>			
9	日本動物看護協会は、日本で初めての動物看護職の全国団体として、2009年に発定し「動物看護師の倫理綱領」が制定された。倫理綱領とは、自らの行動を自ら律するためのものである。倫理とは道徳の規範となるもので、綱領はその要点を示すものとされる。この倫理綱領の中には、前文をはじめとする15条の綱領が書かれており、これらが動物看護師の心得であり、行動の指針となる。動物看護師は、自分の行動に迷いを生じた時、他の医療従事者の行動に疑問を感じた時などには、この倫理綱領にもとめて今の自分の行動を確認することができる。倫理と道徳という言葉は同じような意味で使われて率ことが多いが、それぞれの意味を理解しよう。「動物看護師の倫理綱領」の前文には動物も人も同様に、自らの存在を尊重され、健やかな生活を送ることを願っている。しかし、動物たちには言葉はなく、直接人間に訴えることはできない。人間は、動物たちが人間に何を望んでいるかを常に考え、動物たちの思いに応えなければならぬ。（抜粋）がある。		
<p>理解課題 動物看護過程とはなにか、理解し説明できるようになる。</p>			
10	動物に何かをしてあげたいと思う心そのものが動物看護の本質であるが、動物の状態や適切と思われる方法、今後の見通しなどが明確でない状態でも実施して、行ったことと動物の反応の因果関係が不明である。実施した動物看護が益のあるものだったのか、その内容が再現可能なものかも不明確である。実施した動物看護を記録に残すことによって、ほかの動物看護師にも継続可能で、内容を振り返り評価できる。平準化されたものとなる。そのための構成要素は①アセスメント②動物看護診断（問題の抽出）③動物看護計画④実践⑤評価の5段階とする。		
<p>理解課題 動物看護技術とはなにか、理解しその要素にはどのようなことがあるのか説明できるようになる。</p>			
11	人医療における看護技術の定義：看護の専門知識に基づき、受け手の「安全・安楽・自立」を目指した直接行為であり、実施する人の人間観・看護観と技術の習得レベルを反映する。看護技術とは、看護の目的を達成するための活動・行為。看護技術の原則として安全・安楽・自立があり看護技術を使用するときの注意として①目的を明確にすること ②同意を得ること（獣医療では飼い主の同意） ③個性性を考えること ④技術実施後に評価すること。要素としては①動物と飼い主が健康な生活を送れるようにするために援助するには、コミュニケーション技術（能力）が必要。②動物が治るためには飼い主の協力が必須である。		
<p>理解課題 動物看護技術としての「コミュニケーション技術（能力）」とはなにか説明できるようになる。</p>			
12	動物が治るためには飼い主とのコミュニケーション能力が必須であり、動物看護師を信頼してもらうことによって治療や処置の協力が得られるようになる。そのためには第一印象と既成概念的スタイルが大切であることを理解する。動物病院はビジネスであり、サービス業であることを充分に知り、動物病院は飼い主には選ばれる立場であり、選ばれなければ良質な経営は望めない。健全な経営無くして良質で健全な診療はあり得ないということを知る。動物が最高の獣医療を受けられるためには飼い主への適切な指導と教育が必要であることw知ったうえで飼い主とのコミュニケーションの取り方を探求する。飼い主に信頼してもらうためには第一印象を良くすることが必要であり、社会的役割を伝えるために清潔で信頼感のあるユニフォームをきちんと着用し、大切な我が子を安心して託せる存在であることを伝えられるようにしたい。		
<p>理解課題 ホスピタリティーについて理解し、説明できるようになる。</p>			
13	ホスピタリティーとは、人と人が接する時に生み出される印象であり、人と接する時に相手に与えることのできる良い印象の全て、である。言葉の語源はホスピタル、病院でありここから「安心して泊まれる宿」ホテルという名前が出た。獣医療はサービス業であり、選ばれるためには動物病院としてのホスピタリティーが必要である。飼い主に選んでもらえるためには施設、医療機器、診療技術が高度で良質であることは勿論であるが、来院する動物と人に対して「高度な思いやりとおもてなし」を提供することが必要である。動物の痛みだけではなく飼い主の「心の痛み」を分かち合えるような動物病院でありたい。		
<p>理解課題 HAB(Human Animal Bond) 人と動物との絆、について理解し説明できるようになる。</p>			
14	HAB(Human Animal Bond) 人と動物との絆、は人が優しさや慈しみを忘れずに人間らしくあるために大切な理念。大切な精神の一つであり、ホスピタリティー精神の一端である。人を動物が良い関係で暮らすことができる社会をつくり、この心が社会全体を平和にする方法となりえる。		
<p>理解課題 飼い主が動物病院に求めているもの、について理解し説明できるようになる。</p>			
15	飼い主が動物病院に求めているもの、8つの項目について理解する。①あたたかさ ②心使い ③丁寧さ ④能力 ⑤コミュニケーション ⑥誠実さ ⑦利用しやすさ ⑧環境		